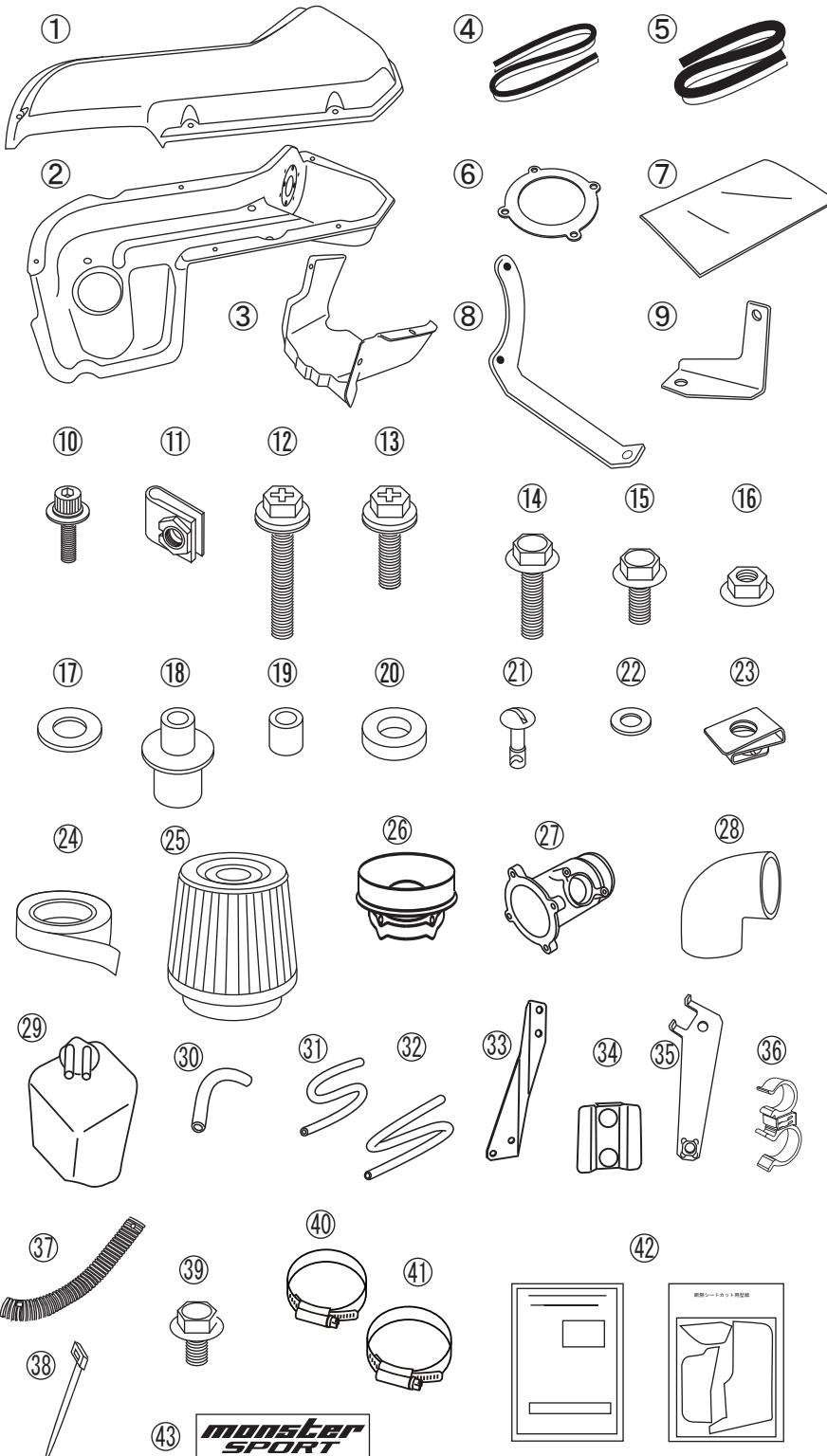


取付説明書

この度はMONSTER SPORT製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、本製品の取付、取扱についての要領と注意を記載しております。
安全に正しくご使用いただくために、本書を必ずお読みください。

品番・適合車種	品番	年式	適合車種
	8FBP20	'05.9~	ZC31S

構成部品 ※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。



No.	品名	数量
①	ボックスA	1
②	ボックスB	1
③	ボックスC	1
④	エプトシーラー t:5mm	2
⑤	エプトシーラー t:15mm	1
⑥	ガスケット	2
⑦	断熱シート	1
⑧	ステーA	1
⑨	ステーB	1
⑩	座金組込キャップボルトM5×20	3
⑪	M5クリップナット	3
⑫	バネ座金組込ボルトM6×40	3
⑬	バネ座金組込ボルトM6×25	1
⑭	フランジボルトM6×25	4
⑮	フランジボルトM6×15	1
⑯	フランジナットM6	1
⑰	M6平ワッシャー外径φ20	4
⑱	マウントカラーA	3
⑲	マウントカラーB	1
⑳	ウレタンゴム t:5mmφ20	8
㉑	カーターファスナー・スタッフ	5
㉒	カーターファスナー・樹脂ワッシャー	10
㉓	カーターファスナー・クリップ	5
㉔	両面テープ	1
㉕	PFX400/ホースバンド付き	1
㉖	エアファンネルアダプター	1
㉗	エアフロセンサアダプター	1
㉘	シリコンホース	1
㉙	リザーバータンク	1
㉚	90度ホース	1
㉛	ホース(7×11×600)	1
㉜	ホース(5.4×11.4×600)	1
㉝	ステーC	1
㉞	ステーD	1
㉟	ステーE	1
㉟	パイプクランプ	1
㉟	コルゲートチューブ	1
㉟	タイラップ	4
㉟	フランジボルトM6×8	2
㉟	ホースクランプ小	1
㉟	ホースクランプ大	1
㉟	取付説明書・型紙	各1
㉟	monster sportステッカー	1

製品についての注意事項

- 適合車種以外の車両には絶対に取り付けないでください。
- 製品の取扱いには細心の注意をはらい、落下させたり上に重いものを載せたりして、製品に荷重・衝撃を加えるような行為は絶対に行わないでください。
- 本製品、または取付説明書の内容につきまして不明な点等ございましたら、製品購入先へお問い合わせ頂き、ご理解された上でお取扱くださいますようお願いいたします。

取付上の留意事項

- 取付作業は、障害物のない安全を確保できる広く平らな場所で行ってください。
- 取付けの際、ボディに傷をつけないよう注意して作業を行ってください。
- 作業は必ずエンジンが冷えた状態で行ってください。やけど等重傷を負う可能性があります。

取付準備作業

- エンジンを停止し、トランスミッションがニュートラル(AT車はパーキング)にあることを確認し、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実に効かせてください。また、エンジンキーは必ず取外しておいてください。
- 取付けに必要な工具(用具)は、あらかじめ用意しておいてください。

メンテナンス

- オイル交換、エアクリーナー交換はボックスAを取り外して行ってください。
- プラグ交換はボックスA/Bを取り外して行ってください。
ボックスBを取り外す際、マウントカラーA・Bをエンジンルームに落とさないように注意してください。
- 定期的に取付状態を確認してください。
- 使用過程において劣化、破損した場合は速やかに新品に交換してください。
- 使用中に異常を感じたら直ちに車を停止し、各部を点検してください。

本製品の取付作業、取付後に関する事故、破損について弊社は一切の責任を負いかねます。

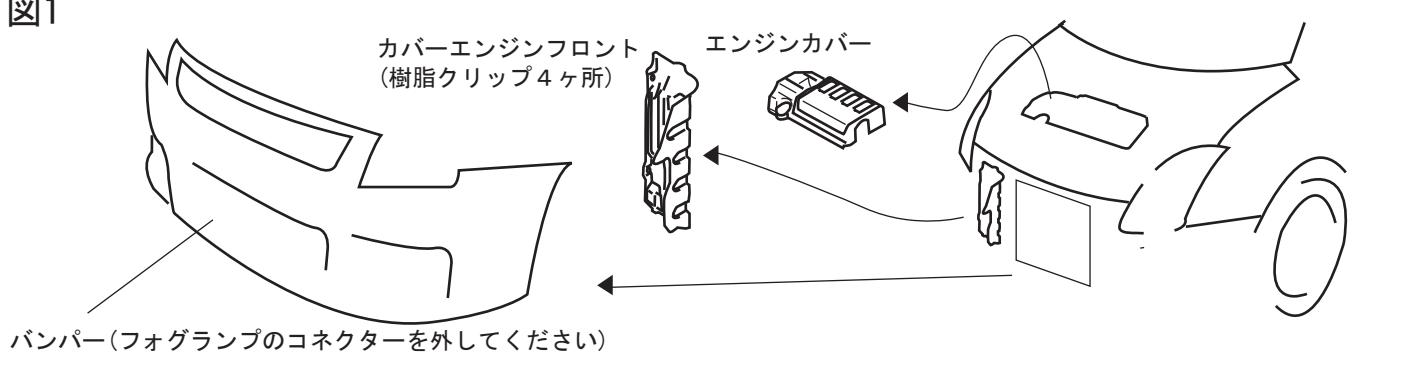
取付方法

- ・本製品の取付に際して、脱着する純正部品は自動車メーカー発行の整備手順書に従い作業してください。
- ・本製品の取付に際して、脱着する純正部品は紛失または傷などつかないように保管してください。

1. 各部取り外し(図1・図2参照)

1. 車両からフロントバンパー・エンジンカバー・フロントバンパー・カバーエンジンフロントを取り外してください。

図1



2. ①～⑦の順にエアクリーナーボックス・エンジンカバーステー・プラグカバーのボルトを取外してください。

プラグカバーの正面から見て右上のボルトは、正面から見て左上に取付けてください。

(⑦はエアクリーナーボックスを取り外した後の作業になります。)

※取外したホースバンド・ボルト・樹脂クリップ類は再使用するものも含まれますので、紛失しないように注意してください。

図2

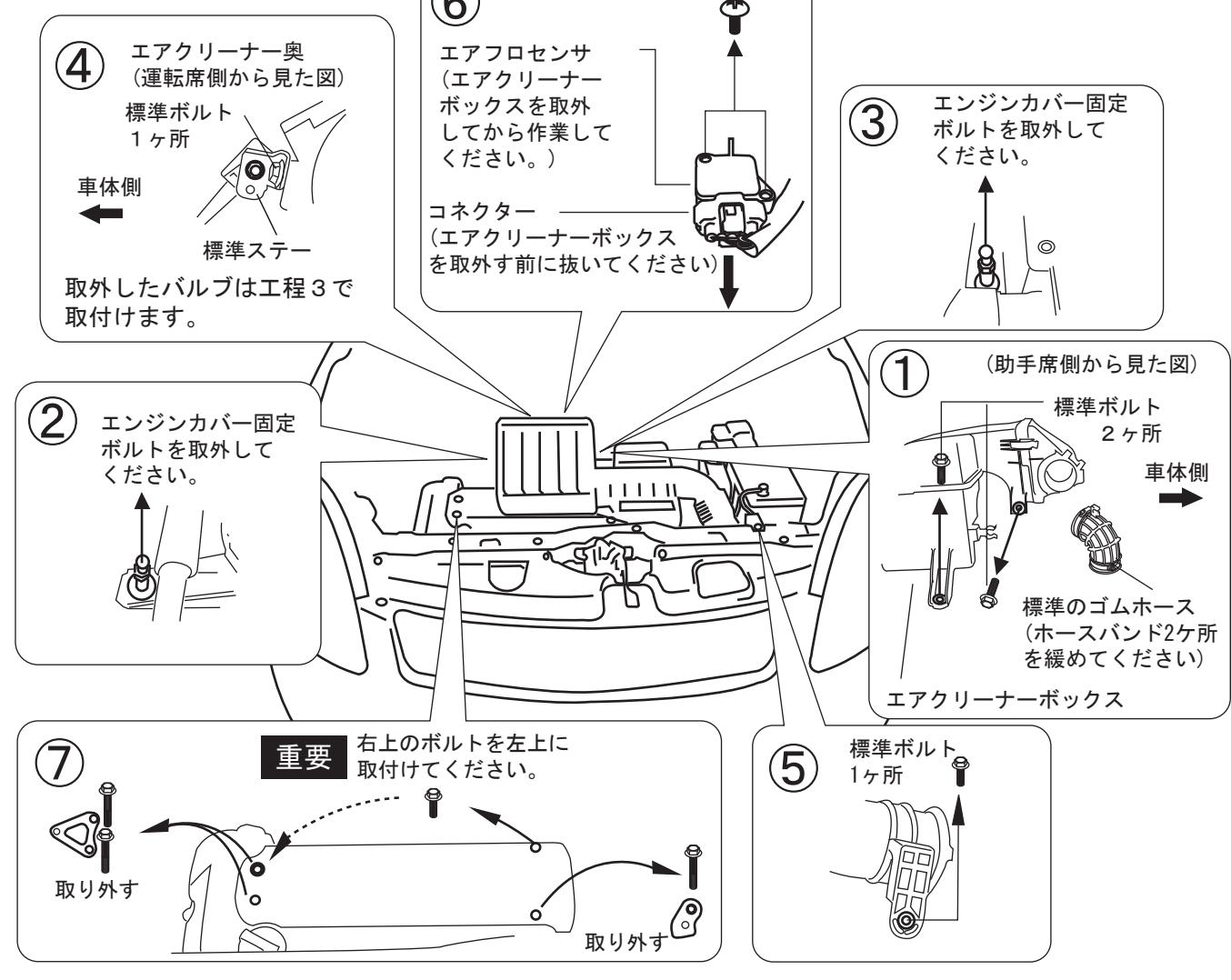
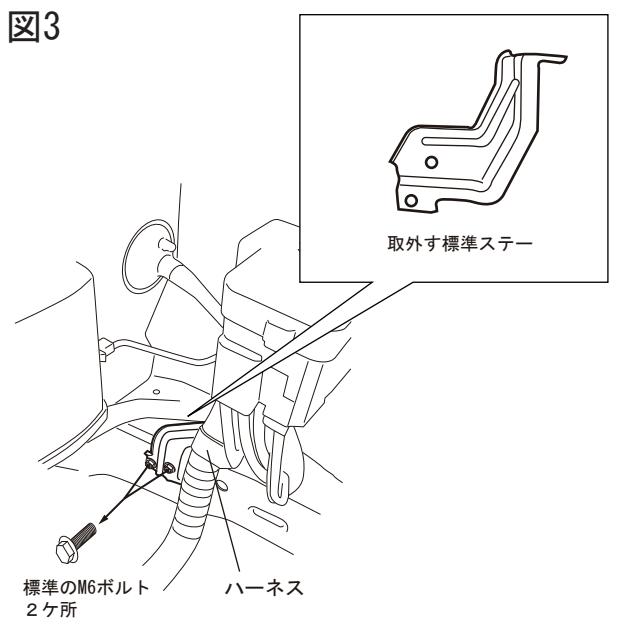


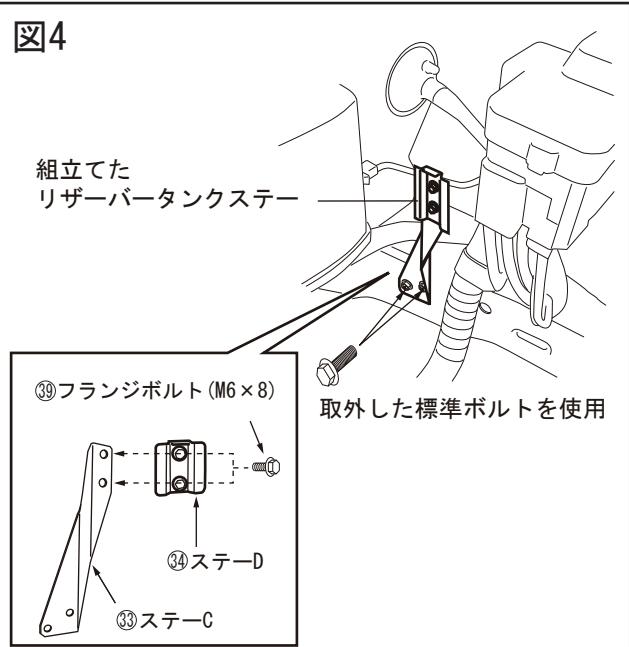
図3



2. リザーバータンクの交換(図3～図6)

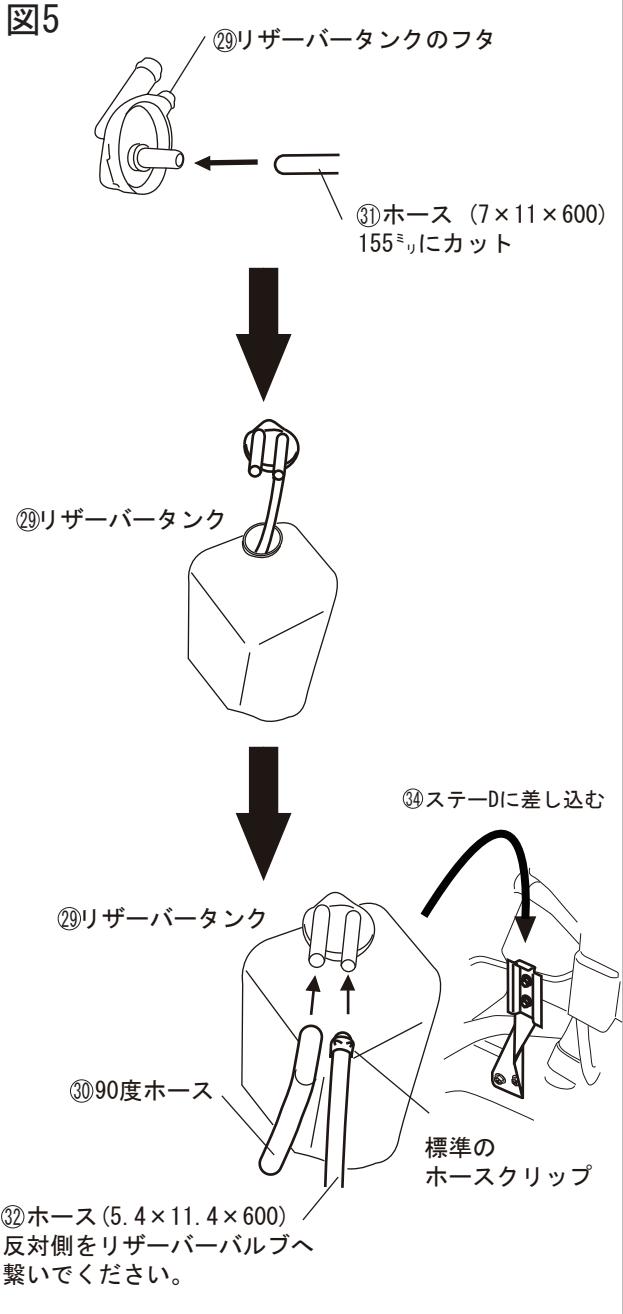
- バッテリーの奥にあるハーネスを取り外し、これを固定していた標準のステーを取り外してください。(図3)

図4

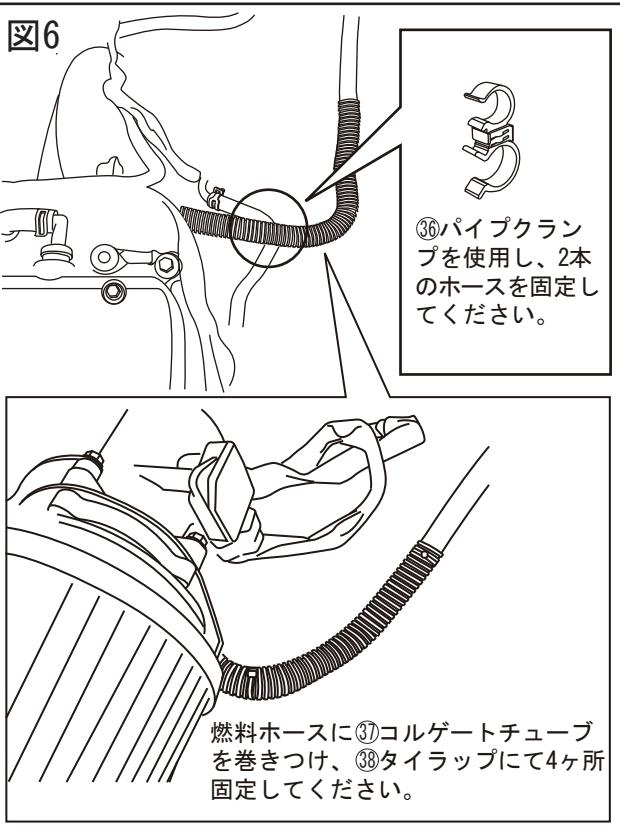


2. ③ステーC・④ステーDを組立ててください。(図4)
3. ③ステーC・④ステーDを標準ステーが固定されていた位置に③フランジボルト (M6×8) で取付けてください。(図4)

図5

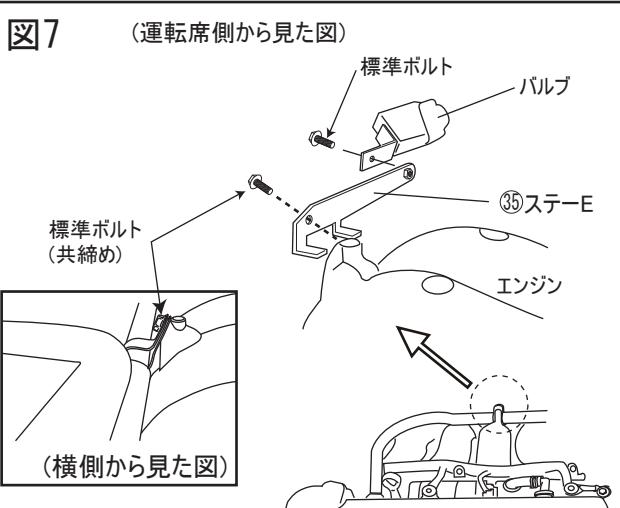
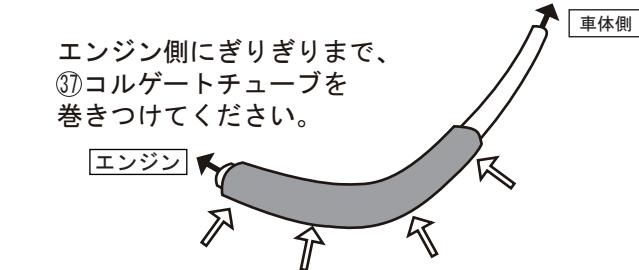


4. 標準のリザーバータンクを上にスライドさせて取外してください。標準のリザーバータンクからホースを取り外して中のクーラントを②リザーバータンクに移し替えてください。この際、クーラントがこぼれないように②リザーバータンクを固定するか、2人で作業してください。
5. リザーバーバルブと繋がっているホースを取り外してください。ホースを留めていたホースバンドは後から使用しますので、保管してください。
6. キャップ裏側に①ホース (7×11×600) を155°の長さにカットして取付けてください。(図5)
7. ③90度ホースと④ホース (5.4×11.4×600) を取付けてください。④ホース (5.4×11.4×600) は標準ホースクリップで留めてください。②リザーバータンクを④ステーDに確実に差し込んでください。



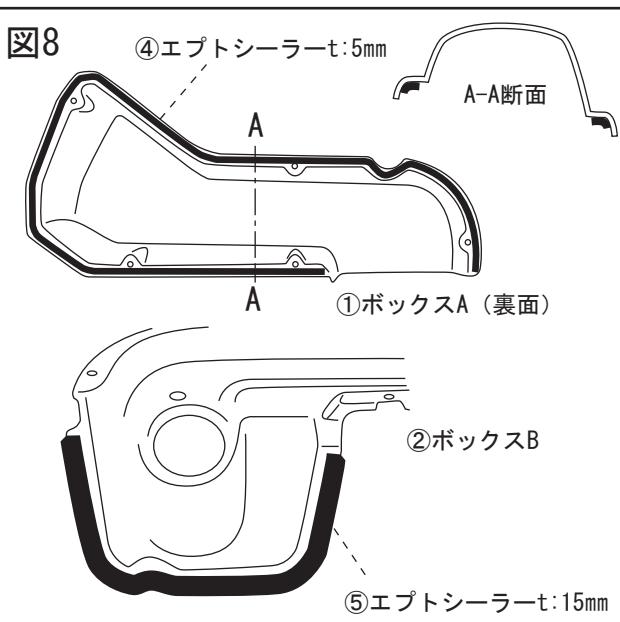
8. 燃料ホースに⑦コルゲートチューブを巻きつけ、⑧タイラップを使用して固定してください。(4ヶ所)
9. ⑥パイプクランプを使用して2本のホースを固定してください。

補足説明図



3. ステーEの取り付け(図7)

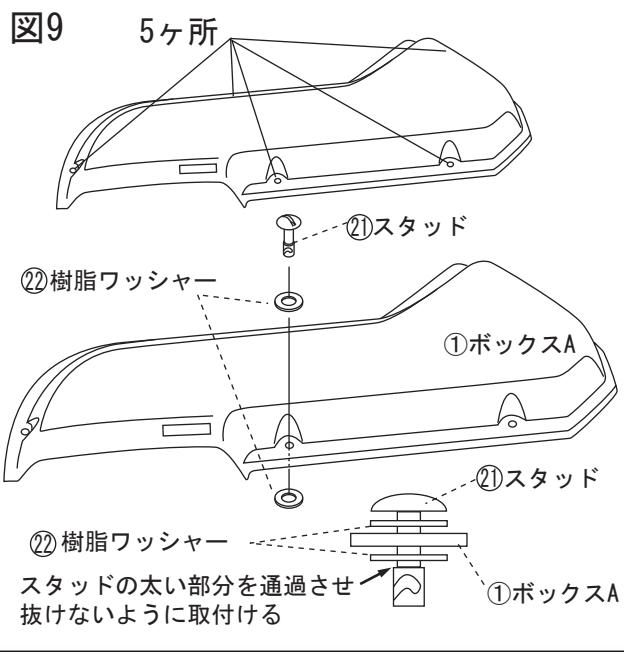
1. ⑤ステーEをエンジン奥の標準ホースバンドが固定されていた場所に共締めして取付けてください。
2. 工程1で取外したバルブを、標準ボルトを使用して⑤ステーEに取付けてください。



4. エプトシーラーの貼りつけ(図8)

1. ①ボックスAに④エプトシーラーt : 5mm・②ボックスBに⑤エプトシーラーt : 15mmを貼付けてください。

△注意 エプトシーラー貼付部を確実に脱脂してください。

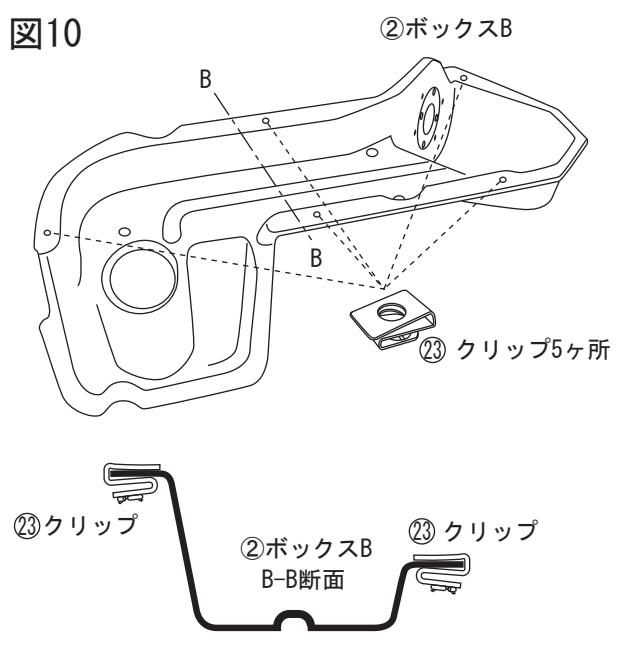


5. クオーターファスナーの取付け(図9～図10)

- ①ボックスAのフランジ穴5ヶ所にクオーターファスナー、②スタッドと②樹脂ワッシャーを取り付けてください。
②スタッドに②樹脂ワッシャーを1枚取付け、①ボックスAを挟んで、②樹脂ワッシャー2枚目を取付けてください。

※①クオーターファスナー・スタッドは①ボックスAに対してフリーの状態で取付けられます。

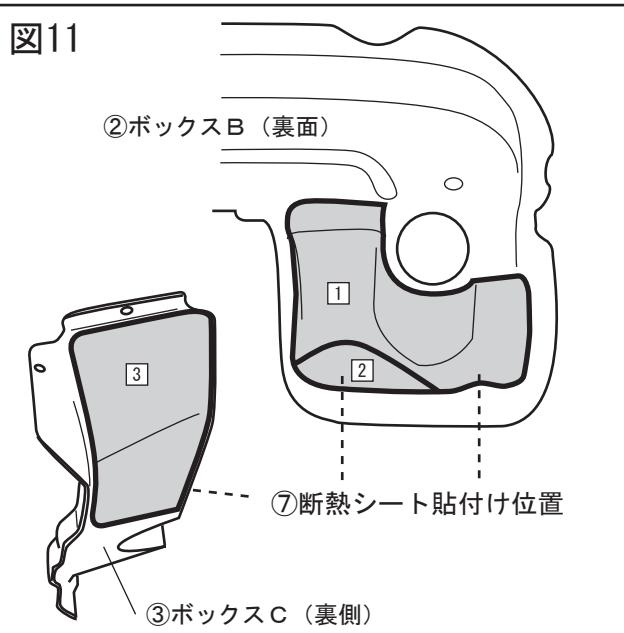
△注意 ②樹脂ワッシャーは②スタッドの太い部分を通過させ抜けないように取付けてください。



- ②ボックスBのフランジ穴5ヶ所にクオーターファスナー・②クリップを取り付けてください。

クオーターファスナーの開閉方法

クオーターファスナーはマイナスドライバーで開閉します。スタッドをクリップに差し込みながら、90°回転（時計回り）に回すことでロックされます。外す場合は、90°逆回転することで解除されます。

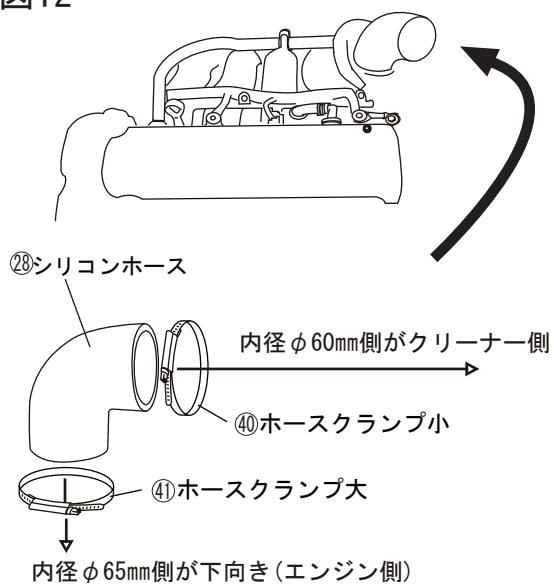


6. 断熱シートの貼りつけ(図11)

- ⑦断熱シートの表側（銀色）の面に⑤型紙をあて、切取線に沿ってカットしてください。
- ②ボックスB・③ボックスCの裏面に⑦断熱シートを貼付けてください。

△注意 ⑦遮熱シート貼付部を確実に脱脂してください。

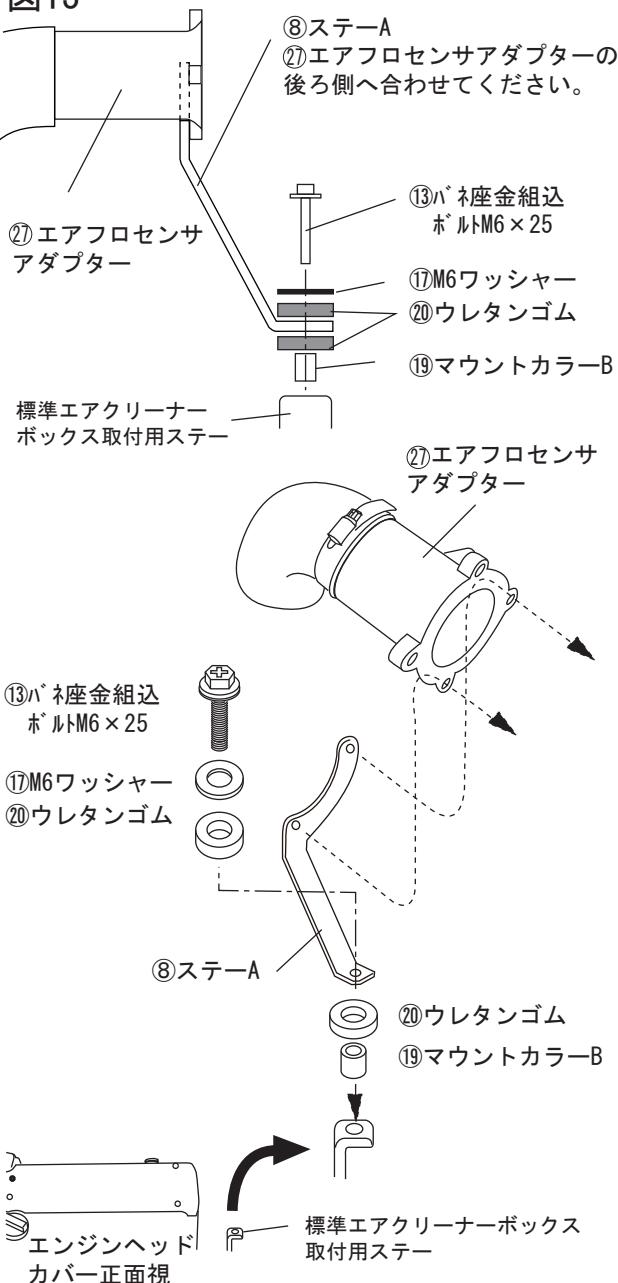
図12



7. エアフロセンサアダプターの取付け(図12~図13)

- ⑧シリコンホースを内径φ65mm側をエンジンへ、⑪ホースクランプ大を使用して取付けてください。
- ⑩ホースクランプ小をクリーナー側に仮装着してください。

図13



- ⑧シリコンホースに⑦エアフロセンサアダプターを差し込んでください。
- ⑨マウントカラーB・⑩ウレタンゴム・⑪M6ワッシャー・⑫バネ座金組込ボルトM6×25を使用して⑧ステーAを、標準エアクリーナーボックス取付用のステーへ取付けてください。

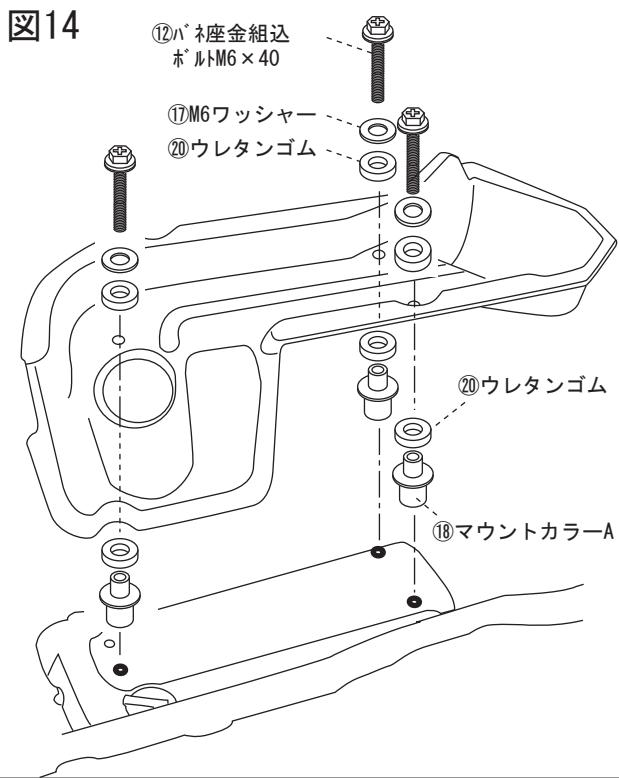


⑧ステーAは⑦エアフロセンサアダプターの後ろ側へセットしてください。
本締めは行程9で行いますので、仮締めにしてください。



エンジンルームに⑩ウレタンゴムや⑨マウントカラーBを落とさないように注意してください。

図14

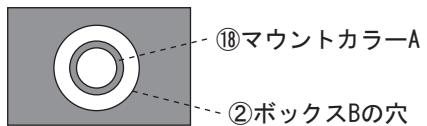


8. ボックスBの取付け(図14)

- ⑯マウントカラーA・⑰ウレタンゴム・⑮M6ワッシャー・⑯バネ座金組込ボルトM6×40を使用して、②ボックスBをエンジンヘッドカバー部へ取付けてください。

⚠ 注意

②ボックスBの穴が⑯マウントカラーAに干渉しないよう位置合わせをしてください。



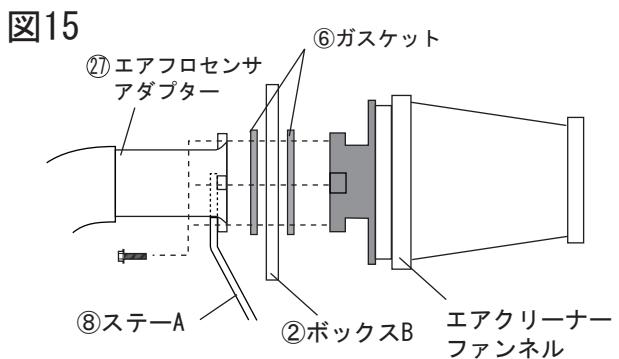
⚠ 注意

本締めは行程9で行いますので、仮締めにしてください。

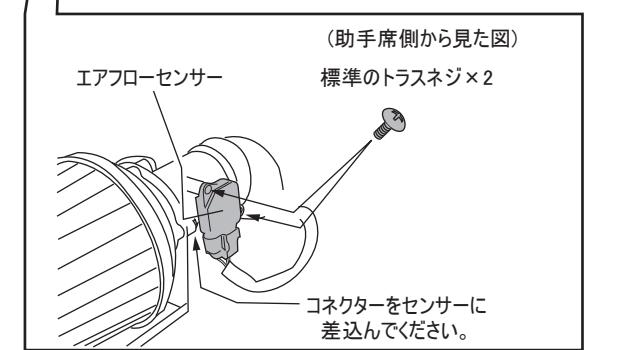
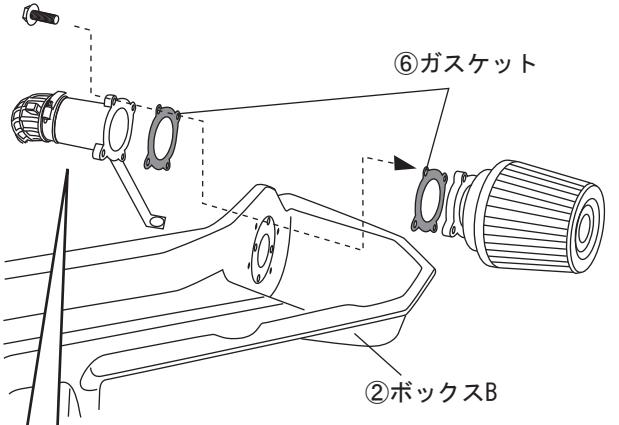
⚠ 注意

メンテナンス等で②ボックスBを取り外す場合は、⑯マウントカラーAをエンジンルーム内に落とさないように注意してください。

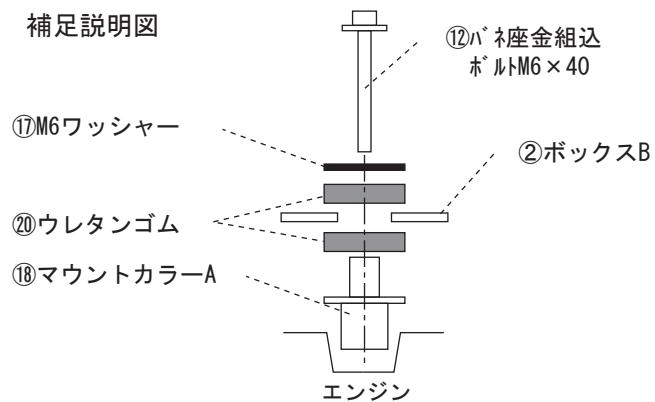
図15



⑭M6×25フランジボルト (4ヶ所)



補足説明図



9. PFXの接続(図15)

- ⑥ガスケット・⑭フランジボルトM6×25を使用してファンパネル・エアクリーナーを②ボックスB及び⑦エアフロセンサアダプターへ取付けてください。

⚠ 注意

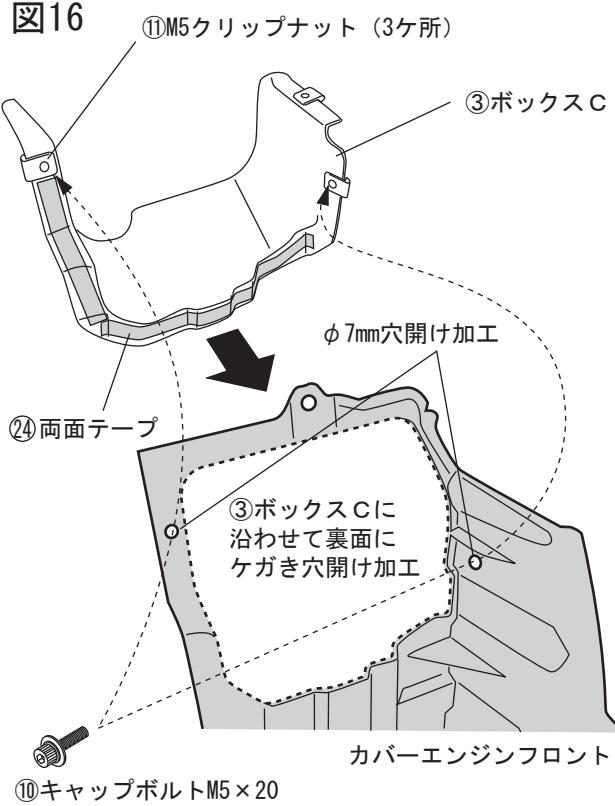
⑧ステーAは⑦エアフロセンサアダプターに共締めしてください。
エンジンルームやボックス内に⑥ガスケットを落とさないように注意してください。

- エアフロセンサを⑦エアフロセンサアダプターへ取付けてください。
- ⑧ステーAの車体側を本締めしてください。
- ②ボックスBのエンジンヘッドカバー取付部を本締めしてください。

⚠ 注意

⑰ウレタンゴム部は、⑫⑬ボルトが⑯⑯マウントカラーA・Bに当たるまで、確実に締込んでください。
各部のボルト類の本締めを行ってください。
また、締め忘れが無いか、確認してください。

図16



10. ボックスCの取付け(図16)

- ③ボックスCをカバーエンジンフロントの裏面に沿わせて、③ボックスCの内側をケガいてください。
同時に穴位置($\phi 7\text{mm}$ ・2ヶ所)もケガいてください。
- カバーエンジンフロントにケガいたラインと穴位置を穴開け加工してください。
- ③ボックスCのフランジに④両面テープを貼付けてください。

△注意

④両面テープ貼付面の油脂や汚れは確実に除去し、充分に脱脂してください。

- ③ボックスCに⑪M5クリップナット (3ヶ所) を取付け、カバーエンジンフロント側から付属の⑩キャップボルトM5×20を使用して③ボックスCを取付けてください。

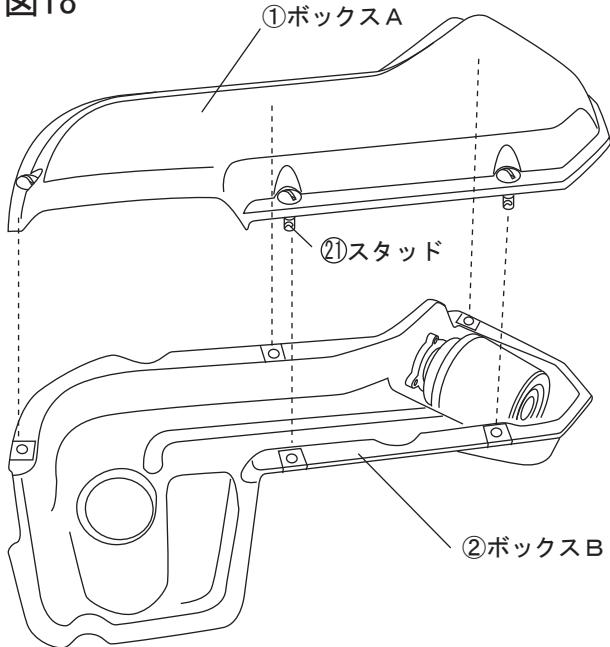
図17



11. ステーBの取り付け(図17)

- ラジエターサポートのボルトを付属の⑯フランジボルトM6×15に交換してください。
交換したボルトへ付属の⑯M6フランジナットを使用して⑨ステーBを取付けてください。
- カバーエンジンフロントを元の樹脂クリップを使用して、車体へ取付けてください。
- ⑨ステーBと③ボックスCを付属の⑩キャップボルトM5×20を使用して固定してください。

図18



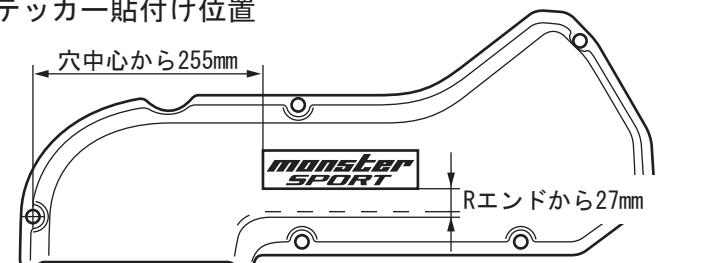
12. ボックスAの取付け(図18)

- ①ボックスAを②ボックスBに被せてください。クオーターファスナー・②スタッドが、③クリップの取付穴にはまって落ち着く状態にしてください。
- クオーターファスナー・②スタッドを回して、①ボックスAを固定してください。
- フロントバンパーを取付けてください。

クオーターファスナーの開閉方法

クオーターファスナーはマイナスドライバーで開閉します。スタッドをクリップに差し込みながら、90°回転（時計回り）に回すことでロックされます。外す場合は、90°逆回転することで解除されます。

ステッカ一貼付け位置



取付完了後のバッテリー端子接続

取付完了後、バッテリーの(-)端子を元に戻した際、電子スロットルの全閉学習作業を行う必要があります。
※アイドリングが不安定になる原因となるため、必ず作業を行ってください。

△ 重要

- イグニッションスイッチをONの位置にして、5秒待ってください。
※この際、エンジンは始動しないでください。

取付完了後の点検

△ 注意

- エアプロセンサ、エアファンネルクリーナーが確実かつ正確に取付けられていることを確認してください。
- 各ボルト・ナット類、ホースバンドに取り付け忘れや緩みが無いか、確実に固定されているかを確認してください。

走行時の注意

- 本製品はノーマルエアクリーナーボックスと比較して、ダクト開口部が前（進行方向）を向いていますので、前方からの水の侵入の危険が高まります。水溜り走行時などは、十分に減速するなど、注意してください。

△ 注意

